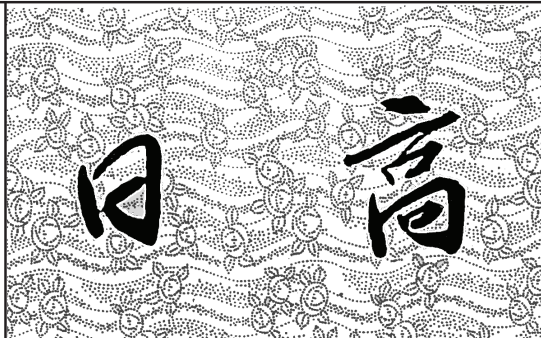


日高地区概況

令和5年11月1日現在
世帯数 9,344
人口 21,367
男 10,427
女 10,940

※この概要は日高支所管内の統計による



第215号

発行日 令和5年11月20日
発行 日高学区市民自治会
http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/
代表者 志賀 勝弘
編集責任者 木田 源一
印刷 おぎつ印刷



地域に親しまれている東連津川が牙をむく
豪雨翌日の杉丸太が散乱する病院駐車場 (写真提供 永井ひたちの森病院)

東連津川
地域水路 氾濫 厳しい教訓残す
油断なく減災対策を

9月8日の台風13号のもたらした線状降水帯による集中豪雨は、後に日立市が国から局地激甚災害の指定を受けたほどで、日高学区にも甚大な被害をもたらしました。
日頃、自然災害の影響を

あまり被ってこなかった日高の住民にとって、最近の気候変動により多発する自然災害に対しては、無防備だったといえそうです。想定外と片づけず、今回の被害の状況を行政とともにしっかりと検証し、今後に備え

る必要がありそうです。

この大雨により、日高学区内では人的被害はほとんど無かったものの、河川や水路の氾濫による床上・床下浸水、田畑への冠水、流木や土砂の流入などの被害が広範囲に発生しました。
特に小木津山自然公園方面から小木津町内をめぐり、常磐線下を通り抜け、海に流れている水路の氾濫による住宅地への冠水は、上流域、中流域においても多く発生しました。この流域では、過去に何度か水路の改造を行ないましたが、今回の豪雨災害を防ぐことはできませんでした。
東連津川は、上流では川幅3mだったものが岩本地区に入ると3倍の川幅になり、2筋に分流し土砂を押し

し流しました。その土砂と流木は稲田を襲い、稲穂を無残に横たわらせていました。
岩本地区では、崖崩れや床上浸水被害がありました。東連津川流域沿いにある病院では、駐車場に大量の杉丸太の流木と土砂が流れ込み、大きな被害に見舞われました。
日高では、今まで想定外とされていた多くの自然災害が、今後起こり得るものと、油断なく予測しなければならなくなりました。行政による河川対策等も急ぐ必要がありますが、一斉清掃時の側溝清掃や点検、台風時期の土嚢の供えなど、減災につながる対策を個人も地域も怠ってはならないとの教訓が残されました。

日本最古の地層小木津山
「日立の岩石展」

10月19日から25日までひたち生き生き百年塾主催、ジオネット日立と日高学区市民自治会共催の「日立の岩石展」が日高交流センターで開催され、貴重な岩石も展示公開されました。

22日午前には「ストーンペインティング体験教室」、午後には開催された茨城大学名誉教授の田切美智雄先生の地学特別講演会「日本最古の地層と小木津山自然公園・東連津川界隈」は募集枠を大きく超えて65人の聴衆



地元の認識も新たに

が集まりました。講演の後は熱心な質疑応答も多数有り、充実した特別講演会となりました。

行事予定

(11月21日～1月20日)

- 日高学区市民自治会
再生資源拠点回収
11月26日(日)
12月 回収なし
1月21日(日)

- 日高交流センター
日立魅力再発見ウォーク
11月26日(日) (中止)
折り紙教室
12月7日(木)

- 日高交流センター
日高交流センター大掃除
12月16日(土)

- 日高交流センター
日高交流センター
12月24日(日)

- 日高交流センター
新春初顔合わせ会
1月6日(土)

- 日高交流センター
日高ふれあい鳥追い祭り
1月14日(日)

- 日高交流センター
日高交流センター広場
1月14日(日)

役員会報告

10月25日の役員会で次の事項について協議しました。
\*あいさつ声かけ運動
\*災害時避難行動要支援者対応マニュアル
\*わら細工教室
\*第2回本部支部役員会
12月22日(金) 実施
\*日高三世代文化祭
\*交流センター エレベーター設置工事

10月25日の役員会で次の事項について協議しました。
\*あいさつ声かけ運動
\*災害時避難行動要支援者対応マニュアル
\*わら細工教室
\*第2回本部支部役員会
12月22日(金) 実施
\*日高三世代文化祭
\*交流センター エレベーター設置工事